



A-1の活用と庁舎屋上へのライブカメラの設置について

永田政弘議員(政和会)

質問 ①市民サービスでA-1を活用するとしてたらどういうことができるか。

②A-1とインターネット自
治体構想の関連をどう考えるか。

市長 ①窓口業務をロボットが
代用したり各種手続きを補助す
るなどが考えられる。

②A-1やロボットは行政のさ
まざまな分野に活用され、事務
分担や業務のあり方が画期的に
変わっていくことが期待される。

これにより、市民サービスの品
質の高度化や提供方法の多様化
等が図られていくと考える。

質問 ①今なおライブカメラを
設置できない理由は何か。

②積乱雲による豪雨等の局地
的激変をライブカメラで捉える
ことで、市民への早期情報伝達
被害予防になるがどうか。

市長 ①住宅地の広がる小平市
では、撮影した映像を多くの人
に観てもらえるかなど効果が見
きわめられないことから、現在
のところ設置には至っていない。

②気象庁の情報等を活用して
も気象状況の見通しを予見する
ことは非常に難しいことから、
現在のところ考えていない。



観光まちづくりと空き家の 適正管理について

川里春治議員(政和会)

観光まちづくりの
取り組みについて

質問 ①市はこだいら観光まち
づくり協会とどのように連携し
ていくのか。

市長 ①アクシオンプラン50に
おいて、市とこだいら観光まち
づくり協会がともに推進主体と
なっている事業を中心に連携を
図っていく。

②特別展示等のイベントを継
続して行うとともに、東京御大
会を日本の伝統的な木彫文化の
魅力発信の好機と捉え、観覧者
の増加につながる展覧会やイベ
ントを開催していく。

空き家の適正管理について

質問 ①市内の特定空き家の状
況はどうか。

市長 ①現在、外観目視等の範
囲では、法に定める特定空家等
の該当はないと認識している。

②引き続き、所有者等に対し
て管理不全な状態とならないよ
う、法及び条例に基づき適正な
管理を促していく。



公文書管理条例で市民の知る権 利を守ろう／安心できる介護を

日向美砂子議員(生活者ネットワーク)

行政文書を市民の財産と捉え
公文書管理条例の策定を

質問 ①文書総合管理システム
導入における市民が市政情報に
アクセスする面でのメリットは。

市長 ①直接アクセスはできな
いが、登録データを利用し文書
目録、文書件名等にアクセスす
る仕組みの構築を研究していく。

②現段階では考えていないが、
文書管理規程の見直しなどを検
討し、適切な文書管理に努めて
いく。

高齢者も家族も幸せに
暮らせるまちづくりを

質問 ①生活支援コーディネー
ターを各圏域に配置することに
ついての実施予定は。

市長 ①29年度以降に各圏域に
1人ずつ配置を検討している。

②資格取得等の支援や人材の
確保に向けた補助事業、事業者
向け個別相談会等を行っている。
③性別により対象を限っての
実施はしていない。



防災／給食センター建てかえ/ 未利用食品の市内循環について

さとう悦子議員(生活者ネットワーク)

小平市地域防災計画の進捗状況
と庁内等での連携について

質問 ①小平市地域防災計画推
進において、庁内の連携のため
にどんなことを行っているか。

市長 ①小平市災害対策本部条
例で設置される部、班の態勢で
防災訓練に参加するなどしてい
る。

②防災マップやホームページ
などで周知している。今後は大
きな災害直後で関心が高まって
いる時期を捉え、市報等で普及
啓発を検討する。

耐用年数を過ぎている学校給食
センターの施設更新について

質問 ①学校給食センター施設
更新で問題となっていることは。
②施設更新後さらにアレルギー
対応を進めるべきだが見解は。

教育長 ①現時点で用地の取得
に至っていないことである。
②更新を機にアレルギー対応
食の提供の検討が必要と考える。

未利用食品の循環を小平市の
なかで行うことについて

質問 市が回収した未利用食品
を市内で循環することは可能か。
市長 寄付は可能だが循環は新
たな仕組みの構築が課題となる。



待機児童解消の都補助金活用と 幼児2人同乗用自転車について

滝口幸一議員(フォーラム小平)

待機児童解消に向けた東京都の
補助金活用について

質問 ①都の補正事項のうち、
市はどの事業を実施するのか。

②都の補正予算の事業につい
て、小平市が実施せず周辺自治
体が実施した場合、どのような
影響があると考えられるか。

市長 ①認可保育所の整備費補
助のアップ、保育士等の宿舎借
り上げ支援等の事業について調
査、検討している。

②保育士等の宿舎借り上げ支
援事業は人材確保面で実施自治
体が優位となり、未実施自治体
では事業運営等に影響が及ぶ可
能性がある。

幼児2人同乗用自転車補助制度
を導入するべきである

質問 ①子育て中の市民が、幼
児2人同乗用自転車の規格に合
わない自転車に、子ども2人を
乗せている現状への市の認識は。

②購入補助やレンタル制度は
子育て中の市民の利便性向上に
貢献すると考えるが、見解は。

市長 ①やむを得ない事情で都
の道路交通規則に反し安全基準
外の自転車幼児2人同乗して
いる実態もあると認識している。

②既に多くの人が利用し製品
数もふえ、より廉価になってき
ているため、子育て支援策とし
ての事業化は考えていない。



高齢者見守りのための実態把握/ B型肝炎ワクチンの任意助成

蛇川浩議員(市議会公明党)

高齢者の見守りのための
実態把握について

質問 ①法改正で廃止された二
次予防事業の対象者把握事業に
ついて、要介護・要支援認定を
受けていない高齢者への予防策
提供は現在どう引き継いだのか。

②計画策定等のためのアンケー
ト調査を、支援を必要とする人
の早期発見に活用できないか。

市長 ①総合事業等の広報紙を
年3回個別配布し、介護予防事
業等を周知するほか、介護予防
運動講座を地域で開催している。

②高齢者の生活状況等を統計
的に把握するためのものであり、
無記名で行うため、支援を必要
とする人の特定は困難である。

再び、B型肝炎ワクチン定期接種
対象外の乳幼児へ任意助成を

質問 ①接種スケジュールの漏
れのない周知と勧奨が必要だが、
市の取り組み強化への見解は。

②定期接種対象外の乳幼児に
市の負担で任意助成を実施すべ
きだが、その後の検討状況は。

市長 ①28年度前半の出生児は、
接種完了の期間が短いため、市
報等での周知を図っている。ま
た、未接種の対象者には、個別
勧奨を行っていく。

②まずは、定期接種対象者の
接種漏れをできる限り防ぐため、
市報等で着実に周知していく。



特別支援教育／介護保険／市境 道路の交通安全について問う

木村まゆみ議員(日本共産党小平市議員団)

特別支援教育について

質問 ①児童・生徒が希望する
教育を受けられているか。

②巡回指導の教員の体制と専
門性の確保は。

教育長 ①教室や教員が不足し
ているために入級できないとい
う状況はない。
②対象児童数に応じた巡回指
導教員を配置し、各校での必要
な体制が組めるよう努める。

介護保険の実現をめざして

質問 ①認定率を下げた自治体
に対する補助金について。

市長 関係市と調整、協議の上
管理協定を結び、管理主体とな
った市が道路の維持管理を行う。

市境道路での交通
安全対策について

質問 市境での交通安全対策は。
市長 関係市と調整、協議の上
管理協定を結び、管理主体とな
った市が道路の維持管理を行う。



未利用食品の有効活用を(こだいら環境フェスティバル)